



双塔

カトリック新潟教会

2020年12月
No. 391

闇の中でも主イエスを迎える

主任司祭 ラウール・バラデス

今年はコロナ禍の影響で私たちの生活が非常に変わって来ました。他の国と比べたら日本での感染者と死者が割合に少ないが11月に入ってからまた増え続けて来ました。いつまで続くのかと心の中でつぶやきながら不安を感じています。この状況の中で今年もクリスマスの祝いが近づいて来ました。どのような準備をしたらいいのでしょうか。ここで、ベネディクト16世の霊的講話[1]が参考になります。

内面的な喜び

現代の消費社会の中で、この時期が商業主義にいわば「汚染」されているのは、残念なことです。このような商業主義による「汚染」は、降誕祭の本来の精神を変質させてしまう恐れがあります。降誕祭の精神を表すのは、観想と、深慮と、喜びです。この喜びは、内面的なもので、外面的なものではありません。

聖母とともに信じ、待ち望む

イエスの母は、他の誰にもまして、人となられた神の子を知り、愛し、礼拝するように、わたしたちを導くことができるかたである。それゆえ、わたしたちが真実な心、開かれた心をもって、この神の子をベツレヘムの幼子のうちに認める準備ができるように、イエスの母の思いがわたしたちを促してくださいます。イエスの母と祈りのうちに歩みましょう。そして、待降節の典礼がわたしたちに繰り返し述べる招きに答えて、常に待ち望みましょう。

救いの喜びをもって

目覚めて、喜びのうちに待ち望みましょう。なぜなら、主は遅れることなく来られるからです。主は、その民を罪から解放するために、来られるからです。

馬小屋を飾る

馬小屋は、あたかも、マリアとともに、イエスの誕生前の不安に満ちた日々を追体験するために作られます。家庭で馬小屋を作るのは、信仰を表し、子どもたちに信仰を伝えるための、単純ではあっても、効果的な方法となります。飼い葉桶は、わたしたちが神の愛の神秘を観想するための助けとなります。神は、貧しく簡素なベツレヘムの馬小屋で、自らを現されたからです。

馬小屋を飾る伝統は、現代でも、福音宣教のために意味をもち続けています。実際、馬小屋は、本当の意味での降誕祭の秘密をわたしたちが理解するための助けとなります。なぜなら、馬小屋は、キリストの謙遜と、憐れみ深いいつくしみを表すからです。キリストは、「豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた」(二コリント8・9)のです。キリストの貧しさは、貧しさを受け入れる人々を富ませます。降誕祭は、羊飼いたちのように、ベツレヘムで、天使の語ったことばを受け入れる人々に、喜びと平和をもたらします。「あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである」(ルカ2・12)。これは、わたしたちにとっても、すなわち21世紀の人間にとっても、しるしであり続けます。

幼子イエスの誕生のとき、当時のユダヤ全土が深い暗闇に包まれていました。現代は違う形で似たような不安と苦しみがあっても主イエスが私たちの光となって、歩むべき道を示してくださいます。キリストは、死者のうちから復活し、人類を照らす光である。わたしたちが持っているこの希望は、魂にとって頼りになる、安定した錨のようなものである。

[1] 2005年12月11日

そよかぜ便り

■ベトナムの信者さんのサプライズ 10月18日(日)

カトリックの信徒は5月と10月を「マリア様の月」と呼び、ミサの前や家庭でロザリオの祈りをする習慣がある。コロナ禍になって、新潟教会では9時半と11時のミサの間にロザリオの祈りを行った。この日、ミサ後に新潟教会に集まるベトナム人の信者さんたちによる踊りが披露された。

日本と同様、ベトナムでも5月と10月は聖母を記念する月で特に10月はロザリオの月としているそう。



踊りの前のアナウンスでは「ベトナムではロザリオの月の第一日曜日と第四日曜日にダンスをする習慣があります。10月にベトナムに行くと、菊、薔薇、蘭など、様々な花をご覧になることができます。どこに行っても花の香りがします。花の景色に合わせて、私達はゆったりとした踊りをします。そして、マリア様に美しいお花を差し上げるのです。お花と一緒に、私達の願いもお捧げします。」とあった。

このベトナムの文化を伝えるため、1か月間練習してきたとのこと。

民族衣装のアオザイを着て、花を手に踊る姿を拝見できたことは、素敵な異文化交流となった。

※新潟教会のホームページでカラーの画像を見ることができます。ぜひご覧ください。



■新潟地区信仰養成講座 10月24日(土) 13:30~



この日、聖堂、センター2階を会場に多くの方が信仰養成講座を受けた。また同時にYouTubeでライブ配信もされたので、さらに多くの人たちが成井司教様の初めての信仰養成講座を受けることができた。

成井司教様がモットーにされている「いつも ふくいんをともに」をテーマにお話しされた。本来であれば、みんなとともに福音を読み、隣同士の人と分かち合いをして欲しかったとのこと。確かに多くの制限の中で開催された講座ではあったが、ライブ配信を見ながらともに同じ時を過ごすことができたことを考えれば今までで一番たくさんの方が受けた信仰養成講座だったであろう。

導入でルカによる福音書13章6節から9節(実のならないいちじくの木のとえ)を読んで、どの言葉が心に響いたか、印象に残ったかを共に考えた。「いろいろなメッセージが福音にはある。自分が神の前できちんとした生活を実践しているか、いい言葉や行いを実践できているかと言えばできていない。自分がいちじくの木だとしたら、ろくに実をつけていないから切り倒せと言われてたらとても怖い。しかし、切り倒さないでくれと逆の提言をした人がいるように、神は私の行いがいいか悪いかは問題ではなくて、神さまの語り掛けに対して答えようとしているかどうかを大切にしていきたい。」と話された。

そして、自己紹介として子どもの頃インドネシアで過ごし、帰国後に日本ではこうあるべき、こうすべきと言われることがあって生きづらいと感じた少年時代の話や勉強よりボランティアに明け暮れていた青年時代の話、カトリック教会としてどのように社会と関わっていくかを学んだ話など、海外で外国人として過ごしてきた経験などをお話ししていただき、たくさんの方の経験をしてきた司教様の話に多くの方が耳を傾けた。



小教区評議会より

1. 各部会報告

- 1) 典 礼 部 特になし
- 2) 広 報 部 10/18 月刊双塔 130 部印刷
- 3) 総 務 部 2020 年度 9/27～10/25 東日本大震災復興支援活動第 2 弾実施
来年で活動が 10 年目となり、今回は復活祭を第一候補として検討中
- 4) 経 理 部 9/27 維持費整理
- 5) 国際協力部 英語ミサではコロナ対策として配布物の持ち帰りを呼びかけた
- 6) 施 設 係 ボイラー工事の日程決定 11/2 から開始 11/10 目途に完了予定
- 7) 信仰養成 10/10 実施 10/24 新潟地区信仰養成講座実施

2. 行事関係確認事項

- 1) 11 月の主な行事
 - ・ 11/1 (日) 帰天された方のためのミサ
 - ・ 11/8 (日) こどものためのミサ、七五三祝福 (9:30 ミサのみ)
墓地清掃 (寺尾)
 - ・ 11/14 (土) 信仰養成講座 10:00～
 - ・ 11/22 (日) 王であるキリストの祭日
屋外イルミネーションの飾りつけ (9:30 ミサ後)
馬小屋づくり、聖堂内ツリー (11:00 ミサ後)
- 2) 12 月の主な行事
 - ・ 12/5 (土) 待降節黙想会 中止
ゆるしの秘跡 (土曜のみ実施 15:00～ 1 時間程度を予定)
 - ・ 12/20 (日) 大掃除 (9:30 ミサ後:センター 11:00 ミサ後:聖堂)
 - ・ 12/24 (木) 主の降誕 夜半のミサ 20:00 (Youtube でライブ配信)
参加人数 60 人程度 (検討中)
 - ・ 12/25 (金) 主の降誕 日中のミサ 10:00

3. 連絡など

- 1) 12/24 主の降誕夜半ミサ
 - ・ 一般の方の参加をお断りする旨、HP に掲載する
 - ・ 信徒には郵送で入場制限の案内を出す
 - ・ 入場制限により例年の係が必要なし、代わりに入口で入場制限の説明係を配置
- 2) 任期満了による評議員長、部長 (広報、経理、国際協力部、施設係) 選任について
 - ・ 現在調整中
- 3) その他
 - ・ センター 2 階の炊飯器について、3 個のうちひとつが故障したため処分する
 - ・ ミサで扱う印刷物の持ち帰りをインフォメーションに掲載し周知する
また、コロナ対策として聖歌もプリントで配布する
 - ・ 定例となっているベトナムの信徒が集まる第 3 週の予定をお知らせに掲載するか検討

4. 次回開催日 12 月 6 日 (日)

インフォメーション!

●聖書勉強会について

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室
指導 ラウール神父

●はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会について

日時 毎週火曜日 午後3時～ 会場 カトリックセンター研究室
指導 ラウール神父

●信仰養成講座について

「知ってるつもり?!」

日時 12/19(土) 午前10時～11時 会場 カトリックセンター研究室
指導 主任司祭 ラウール神父

各勉強会、講座に参加される場合は必ずマスクを着用してご参加ください。

●「月曜会」(秋田の聖母を通して祈る会)のご案内(溝口・野村)

内容 成井司教のミサとロザリオの祈り(どなたでも。ミサのみ参加も可)。

今後の予定 12/14

会場 新潟教会小聖堂

●ミサで使用する聖書と典礼、お知らせ、聖歌のプリントについて

コロナウイルス感染防止対策として、ミサで使用している聖書と典礼、お知らせのプリント、聖歌のプリントは、使用后戻さず、必ずお持ち帰りください。ご協力よろしく申し上げます。

●主の降誕 夜半ミサ、日中のミサについて

今年の主の降誕夜半ミサ、日中ミサは人数制限をして行うことになりました。信徒の皆さんには郵送で入場制限の案内を送付します。なお、夜半ミサ、日中ミサについては振り分けさせていただきます。ご了承ください。

2020年12月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
3日(木)	日本宣教の保護者 聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝)	
5日(土)		・ゆるしの秘跡(15:00~1時間程度) ラウール神父、ロレンゾ神父
6日(日)	待降節第2主日 宣教地召命促進の日(献金)	・小教区評議会(9:30ミサ後) ・英語ミサ(12:00) ・センター&外のトイレ清掃(英語ミサ後)
8日(火)	無原罪の聖マリア(祭日)	
13日(日)	待降節第3主日	
19日(土)		・信仰養成講座「知ってるつもり?!」 (10:00 研究室)
20日(日)	待降節第4主日	・広報部会(9:30ミサ後) ・大掃除(9:30ミサ後はセンター、11:00ミサ後は聖堂)
24日(木)		・主の降誕 夜半のミサ 20:00~(YouTube 配信)
25日(金)	主の降誕	・主の降誕 日中のミサ 10:00~
26日(土)	聖ステファノ殉教者(祝)	
27日(日)	聖家族	・教会維持費の整理(9:30ミサ後)
28日(月)	幼子殉教者(祝)	

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間：主日日曜日(7:00 9:30 11:00) 英語ミサ(第1日曜日 12:00)
週日(7:00、金曜日のみ 10:00)

9:30のミサ、11:00のミサ2部制で行います。

各回、それぞれ朗読と共同祈願を選出します。急遽、朗読等をお願いすることがありますので、その際は快く引き受けくださるようよろしくお願いします。

月刊「双塔」毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
http://cathedral-niigata.jp/ TEL025-222-5024 / FAX025-222-5054

